



なかざわ とみあき
中澤 富晃さん

株式会社ウェルケアビューティー 代表取締役



DATA	企業名	株式会社ウェルケアビューティー
	設立	2013年8月15日
	業務内容	訪問理美容、訪問マッサージ、衣料販売、通信販売、衛生商品販売
	所在地	本社 / 長野市高田1034番地1 TEL 026-219-4138 新潟営業所 / 新潟市西区寺尾西5-6-26 TEL 0120-294-138
	URL	http://wellcarebeauty.com

1979年長野市出身。日本福祉大学を卒業後、2003年に会社を設立し、書店のFC経営、飲食店やさまざまな事業の起ち上げに参画。その間、一新塾に入塾し、多くの社会起業家に影響を受け、その人らしく生きる環境を創ることを目指して、2013年に株式会社ウェルケアビューティーを設立した。

高齢者が、その人らしく、 楽しく生きる社会にむけて

要介護者や介護施設を対象とした訪問理美容などを通して、その人らしく、楽しく生きる環境を創る。サービスを提供している(株)ウェルケアビューティー。コロナ禍において、森と人の健康を守るをコンセプトにした足踏み式消毒スタンドも注目されています。さらに、SDGsの目標を進化させたプロジェクトにも挑戦。代表取締役の中澤富晃さんが目指すのは、みんながともに幸せになる社会の実現です。

事業を通して QOLの向上を目指す

自宅や福祉・医療施設を訪問し、ヘアカットやパーマなどの理美容サービスを提供する「訪問理美容事業」。また、外出しなくても洋服や靴などのお買い物を楽しめる「お買い物サービス事業」、国家資格を持つ指圧師や鍼灸師がそれぞれの施術を提供する「訪問マッサージ事業」。大きく分けて、これら3つの事業で要介護者のためのサービスを展開してきたのが、(株)ウェルケアビューティーです。

2013年に会社を設立し、その人らしく、楽しく生きる環境を創るを企業ミッションに掲げる代表取締役の中澤富晃さんには、その思いの原点に幼少期の体験があります。

「祖父の介護を家族で見っていたのですが、その後施設に入所することになり、私が小学5年の時に亡くなりました。もっと自分でできることがあったのではないかと後悔が残りました。それで、福祉系の大学に進む決心をしたのです」。

要介護者をサポートする事業所には、さまざまな介護施設がありますが、ハコモノを建てるよりもソフト面で喜ばれるサービスを提供したいと考えた中澤さんは、実際に介護施設を回って多様なニーズをすくい上げ、現在の3事業を確立させました。髪を切る、おしゃれをする、マッサージで動きやすい体をつくる。



① おしゃれや自己表現をしたいという望みをかなえる理美容サービスなどを提供

要介護の状態でも今までできなかったことが、遠慮せずに以前のようにサービスを受けられることができる。それは、利用者にとって社会性を保つことであり、QOL(Quality of Life)の向上や生きがいにつながる暮らしにつながります。

2019年には、「訪問だけでなく実際に美容室に行つて髪を切りたい」という要望に応じて、バリアフリー理美容室「CoCoシヤン」もオープンしました。

森から生まれた 木製の足踏み式消毒スタンド

今年5月25日(火)、同社が開発から携わった足踏み式消毒スタンド「mamori」が販売開始されました。この非接触型の消毒スタンドは、介護施設を利用する高齢者や職員を新型コロナウイルスの脅威から守るために開発製造されたもので、県産材のカラマツとヒノキを使った温もりのあるデザインが特徴です。

同社では以前からSDGs(持続可能な開発目標)に賛同しており、県産材を利活用した商品開発は、森林の環境保全や循環型社会への取り組みなど、SDGsの理念に沿うものでした。この開発が認められ、長野県のSDGsを中核とする経営価値向上支援事業に採択され、同社は「長野県SDGs推進企業登録制度」にも登録されています。

実は、このmamoriは長野商工会議所にも設置してあります。また、長野市内の学校にmamoriを寄付



① 信州産のカラマツやヒノキを使った足踏み式消毒スタンド「mamori」

したことがきっかけで、中澤さんは県産材の利活用やSDGsの取り組みについて子供たちに講演も行ったそうです。

SDGsの理念に沿った 新しいプロジェクト

今、このSDGsの理念や取り組みを、介護業界にも広げていきたいと中澤さんは考えています。それが、介護施設などへの内職提供事業を柱とする「コクリエプロジェクト」です。内職の主な内容は、犬猫用のペットフードの製造で、施設利用者はスーパードから賞味期限間近の精肉を分けてもらって加工し、袋詰めを行い、安全・安心に配慮した徹底的な品質管理のもとでペットシヨップや動物病院などに販売します。

地域の資源を生かして地域へ還元する取り組みは、SDGsが掲げる目標にも結びつき、何よりも高齢者が社会参加することで生きがいの発見や認知症予防にもつながると期待されています。長野県では初めての取り組みですが、すでに県外では成功例として公表もされています。その人らしく、楽しく生きる—そんな社会の実現は、確かな足跡となつて輝く未来へと続いていくようです。